

## 令和3年度（2021年度）第3回知多北部広域連合介護保険事業計画推進委員会

日 時 令和4年（2022年）1月28日（金）午後2時から午後2時45分  
場 所 東海市しあわせ村保健福祉センター 福祉団体活動室  
出席委員 14名  
欠席委員 9名

### 事務連絡

（事務局長）

本日は、ご多忙の中、皆様のご出席賜り、誠にありがとうございます。会議の開催に先立ち、事務局から連絡事項がございます。初めに、当しあわせ村はコロナワクチン接種会場にもなっており、会議室に制限がございます。本日も音響設備が通らない会場でのご用意となりました。マイクが1本しかなくご不便をおかけしますことをあらかじめお詫び申し上げます。また、本日は、皆様の3年任期の最後の推進委員会でございます。誠に勝手ながら、午後2時30分頃に広域連合長及び副広域連合長からご挨拶を申し上げたいと伺っております。限られた時間でご審議いただくこととなりますので、スムーズな進行にご協力をお願い申し上げます。なお本日、中副委員長、小出委員、近藤委員、深谷委員、加納委員、黒野委員、永津委員より欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。それでは、以後の進行について野口委員長よりお願いいたします。

### 1 開会

（野口委員長）

ただいまから、令和3年度第3回知多北部広域連合介護保険事業計画推進委員会を開催いたします。

### 2 あいさつ

（野口委員長）

オミクロン株の拡大で特に介護現場の方たちが大変な状況である。感染、陽性それから濃厚接触者の方が現場の中でも出てきて、毎日大変な思いをされていることを伺っています。できる限り我々でも協力できるようなところがありましたらやりたいと思いますし、この難局を何とかみんなで乗り切ってまいりたいと思います。今日は先ほど紹介がありました第8期知多北部広域連合介護保険事業計画推進委員会が今日で最後ということになります。引き続き委員として残られる方、又今回で去る方々もおられるかと思っております。こういう時期でございますので、時間をスムーズにして早く終わりたいと思っておりますので、是非ともご協力をよろしくお願いいたします。

### 3 議事

#### （1）令和3年度介護保険事業の実施状況（上半期）について

（野口委員長）

それでは、次第に従い、議事を進めてまいります。議事1 令和3年度介護保険事業上半期の実施状況について事務局から説明願います。

（安藤課長補佐）

それでは、議事の（1）令和3年度介護保険事業の実施状況、上半期についてご説明いたします。資料No.9をご覧ください。まず、資料の1ページの（1）の人口等でございますが、前年度同時期から東海市、大府市、知多市は減少しております。東浦町は増加しております。広域全体の総人口としては、1,000人減少し、合計で34万2,386人となっております。高齢化率は、24.1%と、前年度同時期より0.2ポイント上

昇しました。表の枠外に記載されている国の高齢化率と比較しますと、依然として低い数値で推移しておりますが、表の下段、85歳以上人口は774人増加しており、後期高齢化率も、前年度同時期から0.3ポイントの上昇となっております。また、下の

(2)の表、被保険者数では、事業計画と約1,900人の差で、おおむね計画通りで推移しているものと考えております。次に2ページをお願いいたします。要介護・要支援認定審査判定の状況でございます。(1)の延べ申請件数でございますが、月平均で648件であり、前年度同時期の672件と比べると96.4%となっております。特に変化が大きいのが表の3行目の区分変更等申請で、前年度同時期と比べて190.3%となっております。コロナの特例更新で前回の介護度を引き継ぎ、前回は調査等行わなかった方で、状態が変化した方や、認定期間が24か月、36か月の期間中の方の申請が増加したものと推察されます。このため今後も、申請件数、審査会の開催件数が年度により大きく変動するものと想定しております。次に3ページをお願いいたします。要介護・要支援認定者数でございます。市町ごとの表の下、下から2つ目の表が、広域連合全体の数値となっております。第1号被保険者の認定者数は、1万4,471人で、一番右の列、認定率は17.5%、前年度より0.8ポイントの上昇となっております。なお、認定率の内訳を見ると、75歳以下で4.4%、75歳以上になると29.9%と、一気に伸びております。一番下の表は、所得のある方に利用料の2割負担又は3割負担をお願いしている状況でございます。続きまして4ページをお願いいたします。保険給付の状況でございます。(1)の居宅サービスの月平均受給者数では、前年度同時期と比べ、要支援は61人、要介護は233人増加しております。(2)の施設サービス受給者数は、前年度同時期との比較で74人の増となりました。(4)からは、給付費の状況でございます。次に5ページをお願いいたします。一番下の行、合計欄をご覧ください。介護サービス等諸費は、合計99億7,184万円で、前年度同時期より5億円ほど、約5.2%の増加となっております。

続きまして6ページをお願いいたします。②の表の一番下の合計欄をご覧ください。介護予防サービス等諸費は、2億7,799万3千円で、前年度同時期より1,400万円ほど、5.4%の増となっております。続きまして7ページをお願いいたします。上から4番目の表、⑦の保険給付費合計をご覧ください。広域連合の合計は108億5,472万7千円で、前年度同時期と比較して5億円ほど、4.9%の増加となりました。令和3年度予算につきまして、執行率は49.4%となっております。続きまして8ページをお願いいたします。介護予防・日常生活支援総合事業の状況でございます。まず(1)事業対象者の状況でございますが、広域連合全体でチェックリスト実施者が901人、事業対象者が523人となっており、事業対象者出現率は前年度同時期と同じ0.6%となっております。次に、(2)介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用者の状況でございますが、訪問型サービス、通所型サービスともに、昨年度より利用者は増加しておりますが、令和元年度の数値までは戻っていない状況となっております。次に、(3)居宅サービス月平均受給者数でございますが、要支援者・事業対象者821人で、前年度同時期より23人の減となっております。続きまして9ページをお願いいたします。(4)の①介護予防・生活支援サービス事業費は、広域連合全体で2億6,789万4千円で、前年度同時期より800万円ほど増加しております。10ページをお願いいたします。包括的支援事業及び任意事業の状況でございます。まず(1)高齢者相談支援センターの事業状況でございますが、①相談件数の広域連合の列をご覧ください。広域連合全体で2万536件でございます。続きまして11ページをお願いいたします。介護保険事業計画推進委員会、及び地域包括支援センター等運営協議会の開催状況でございますが、今年度は皆様方のご協力もあり、中止もなく第1回、第2回の会議とも予定通り開催することができております。少し飛びまして17ページをお願いいたします。相談・苦情件数でございますが、合わせて2,105件で、前年度より182件の増加となりました。(2)の中

ほどにも記載いたしました。⑦の被保険者証に関するものが増加しております。他の資料等もございますので、後ほどご覧いただきますようお願いいたします。説明は以上でございます。

(野口委員長)

何か、ご意見、ご質問はございませんか。ないようですので、それでは議事1は以上とさせていただきます。

#### 4 その他

(野口委員長)

それでは、4その他でございますが、委員の皆様から何かございませんか。ないようですので今日予定されました議案につきまして以上で終わりでございます。この後、広域連合長、副広域連合長から挨拶をいただきます。

(事務局長)

それでは、しばらくお待ちください。

それでは、花田勝重広域連合長よりご挨拶をいただきます。

(花田広域連合長)

皆さんこんにちは。たぶん初めての方が多と思います。広域連合長の花田と申します。どうぞよろしくお願い致します。委員の皆様方におかれましては、公私ともに大変お忙しい中、本委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の委員会は、本年度最後の委員会でもありますし、任期最後の委員会となります。委員の皆様方におかれましては、本当に3年間に渡りまして、介護保険事業計画の策定から進行管理に至るまで、非常に熱心にご協議いただきまして誠にありがとうございました。第8期知多北部広域連合介護保険事業計画では地域包括ケアシステムの更なる充実のために高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを目指すとともに、介護従事者の負担軽減や人材の確保等、必要なサービスを適切に提供できるようサービスの安定提供、質の向上に取り組んでまいりたいというふうに考えております。皆様方におかれましては、委員の立場と同様に今後ともご支援のほどよろしくお願いしたいと思っております。最後になりますが、オミクロン株が本当に猛威を振るっております。また寒い時期でもございますので、皆様方には何卒ご自愛のほどお願い申し上げまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

(事務局長)

ありがとうございました。続きまして、構成市町の長であります副広域連合長より、順次、ご挨拶を申し上げます。岡村秀人副広域連合長。

(岡村副広域連合長)

皆さんこんにちは。副広域連合長を務めさせていただいております大府市長の岡村でございます。委員の皆様方におかれましては、3年間介護保険事業計画の推進に当たり、貴重なご意見を賜り、厚くお礼を申し上げます。今回で最後とお伺いしておりますが、今後とも介護保険事業の運営に対しご尽力賜りますようお願いを申し上げます。新型コロナウイルス感染症でございますが、大府市におきましても連日30人以上の感染者が報道されており、また小学校、保育園児等で非常に感染が広がっている状況でございます。1日も早く接種券を市民の方にお配りをして、早く接種していただけるよう取り組んでいただくとともに、委員の皆様方におかれましてはぜひご自愛をいただきまして、感染予防にお努めいただきたく思っております。今後とも3市1町で一生懸命、感染症予防対策あるいは介護保険事業に取り組んで参ります。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。どうも今日はあ

りがとうございます。

(事務局長)

続きまして、宮島壽男副広域連合長。

(宮島副広域連合長)

皆さんこんにちは。ご紹介いただきました副広域連合長の知多市長の宮島でございます。委員の皆様方におかれましては先ほどらいお話がでておりますが、介護保険事業計画の推進にあたり大変お世話になっております。それぞれの専門の分野のお立場で貴重なご意見をいただいておりますこと、誠にありがとうございます。今もお話が出ていましたが、私どもコロナの感染者が非常に多くて、いつも東海市さん、大府市さんの下にいたのですが、最近は私どもが一番になってしまっぴっくりしているのですが、なんでこんなに広がってしまったのだろうと。いかに今回のオミクロン株の感染力が強いんだなと思っているところでございます。各市町そろってお互いに感染しない、感染させないということで、そしてまたそのためにはワクチンが重要ということで今一生懸命いち早く3回目のワクチンが接種できるように各首長さんたちと一緒に努力しているところでございます。高齢者の生活を支える事業の継続に、皆様方には多大なご尽力をこれからもまたお願いするわけでございますが、今回で一応任期が31日で終わるわけでございますが、本当に3年間大変ご厄介になりましてありがとうございます。また、地域包括ケアシステムの更なる推進において、医療介護連携をしっかりと強化していくことが大変重要であると思っているところでございます。関係機関がより連携を密に進めていくために、各分野の第一線でご活躍されておられる皆様方には、どうかまた今後も引き続きお世話になります、よろしく願いを致します。3年間本当にありがとうございます。

(事務局長)

続きまして、神谷明彦副広域連合長。

(神谷副広域連合長)

こんにちは。副広域連合長、東浦町長の神谷と申します。委員の皆様方におかれましては、計画の推進にあたり、今日、任期最後の委員会ということで、この3年間に渡りご意見等を賜り、誠にありがとうございました。新型コロナウイルス感染症により様々な活動が制限されておりますけれども、今年度から第8期計画が始まっております。コロナ禍においても引き続き介護予防事業を止めない、出来る限り介護予防の活動をしていくということで関係者ともに努力をしているところであります。皆さん、先程からコロナの話がされておりますけれども、東浦町でも第5波を遥かにしのぐ勢いで感染が進んでいますけれども、特に今まで子ども同士でうつしあうということがなかったのですが、今は家庭でうつって、子どもが学校や保育園で他の子どもにうつして、またよそのご家庭に戻っていくというパターンがでてきておりますので、本当に苦慮しているところでございます。委員の皆様方におかれましても、今後とも、引き続き介護保険の事業運営にお力添えいただきますよう心からお願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

(事務局長)

それでは、野口委員長から閉会の挨拶をいただきます。

## 5 閉会

(野口委員長)

知多北部広域連合介護保険事業計画推進委員会の委員長を今までさせていただきましたが、今回のこの期で委員長を降りることとなりました。その降りるにあたりまして少し用意させていただきましたので読み上げさせていただきますと思います。私は知多北部広域連合介護保険事業計画推進委員会の委員長の責務を第1回の2000年、ま

た準備委員会からですと1999年より継続して第8期の2022年3月まで勤めてさせていただきました。介護保険制度の開始より知多北部広域連合の新たな試みに参加させていただくことができました事に感謝を申し上げたいと思います。私自身も、大いに勉強させていただくことができました。第1回より常に心がけてまいりましたのは、知多北部広域連合の当時としては画期的な取組であり、この優位性、スケールメリットをどう計画や介護政策に反映させるか、正副連合長並びに推進委員の皆様方、また事務局の方々と知恵を出し合ってまいりました。広域連合のメリットは、一つは3市1町の広域圏域で介護保険制度を包括的にマネジメントすることができたということであり、単独の自治体では難しい個別の課題を総合的に解決することができたということがあげられます。また二つ目にサービス供給量および施設事業所の配置を広域的に把握することができたこともメリットであります。三つめは第1号被保険者の保険料の設定を低く抑えることができたこともメリットだと思います。しかしデメリットもありまして、広域での介護保険事業計画と各市町の高齢者保健福祉計画の連携が性格上取りにくいということもありました。これまでの経験から広域介護保険制度設計の今後の課題に向けた提案をさせていただきたいと思います。この新型コロナ時代、これからの介護保険制度は、まず政府としては給付費の総額抑制にかかってきておりますし、各自治体においては保険料の負担抑制、それから介護現場の人手不足解消と賃金アップを同時に推進していかなければならないわけでございます。そこで保険者に求められるのは、総合的な介護政策の戦略をこれから立てていく必要があります。増え続ける要支援・要介護認定者数をどうマネジメントしていくか。そこで、各市町の高齢者保健福祉計画との連動が不可欠になってきていると思います。特に、高齢者の健康増進施策と連動した認識を持つ必要があります。フレイル予防や健康増進プログラムなどの自治体ごとの支援策の強化が必要になってくると思います。介護現場の人手不足も早急に解消していかなければならないわけでございます。厚生労働省が介護報酬のプラス改定を定めるのはこのコロナ禍でなおさら深刻となり、介護職員の処遇改善が必要になってきているという、こういった背景もあります。コロナで失われた雇用の一部を介護事業に吸収できる余地があるのか。長続きしないとの現場の声も聴かれます。介護事業所や介護施設、企業の従業員のビジネスケアラーの研修機会の支援、研修プログラム、例えばAI、ICT、福祉テクノロジーを活用したケアの質の向上の開発支援などがこれから極めて重要になってくるかと考えておりますので、これから第9期につきましても、大変厳しい状況が続いているかと思っておりますけれども皆さんの知恵を出し合ってなんとか状況を、知多北部広域連合が先頭を切ってこの介護保険制度を守り抜いていただきたいと思います。私もこれで最後になりますけれども、今までの経緯もありますので、私で出来ることがございましたら十分にご協力させていただきますのでご連絡いただきたいと思いますというふうに思います。本当に長い間ありがとうございました。これをもちまして、第3回介護保険事業計画推進委員会を終了します。